

■After		開化堂カフェ				
建築名称		Kaikado Café				Kaikado CaféのURL
下段: 英語名						
建築用途		大分類 商業施設	小分類 カフェ			
設計者		「OeO」 デンマークのデザインスタジオ		設計事務所のURL		
所在地		京都府京都市下京区河原町通七条上る住吉町352		Google Map		
改修年		2016年	元建築の竣工年	1927年		
建築規模 構造・階数・面積		鉄筋コンクリート造2階建、建築面積92㎡			After 河原町通りに面する外観。入口周りのアールデコ様式のデザインと保線用車両を格納した大きな天井と開口部が特徴	
掲載書誌						
賞・選定		登録有形文化財			撮影者 提供者	
主な関連法規、条例、助成金 等		京都市資産有効活用市民等提案制度			概要 after 40年もの間、閉ざされていた市電の架線保守施設を「京都市資産有効活用市民等提案制度」を活用し、古さを活かしたカフェにリノベーション	
関連組織 等						
資料等					資料のURL	
■Before		内濱架線詰所			概要 before 京都市電の架線保守施設として1927年に建設されたが市電の撤廃に伴い40年近く閉鎖されていた。	
建築名称						
建築用途		大分類 その他	小分類 詰所、作業所			
■写真 Before		閉鎖後シャッターが下り、閉ざされていた外観		After	架線修理の特殊車両を格納するための高い天井と大きな開口を活かした1階のカフェ	
						
撮影者 提供者		提供: 開化堂 撮影: 2015年		撮影者 提供者	撮影: 桐原武志 2026年撮影	
■関連タグ／リノベーションキーワード		用途変更、痕跡、地域に開く				
■リノベーション内容		旧内濱架線詰所・京都市電の架線が断線・故障した際に、緊急復旧・保守を行うための保線施設で2階は保線員の詰所、1階は架線修理のための特殊車両を格納する天井の高い車庫と出入りするための大きな開口部を有しているRC造2階建ての建物。 経緯・近くに工房がある1975年創業の茶筒の老舗「開化堂」が、京都市の私有財産の有効活用のアイデアを提案する「京都市資産有効活用市民等提案制度」に京都市電内濱架線事務所の空間を活かしたカフェを提案し採用された。 建物の歴史と痕跡を活かす・保存されたアールデコ様式の装飾がなされた入り口や階段の真鍮パイプの手摺。保線用車両が出入りしていた開口部はシャッターを撤去し、光が室内に注ぐ大きな開口部に。長年の時間が累積した壁面、壁に残された時刻表の落書きなど、極力手を加えず架線保守施設の痕跡を残し古さを活かしたリノベーションがなされている。 屋外テラスと外壁・建物の背部には緑で囲まれた屋外テラスがあり、テラスに面する外壁は、同時代に建設された同潤会アパートの外観を思わせるデザインとなっている。テラスの家具はデンマークのブランド「PALISSADE COLLECTION」で統一され、外壁と北欧の感性とのコラボが心地よい。 地域への展開・開化堂の近くに2023年に移転した京都市立芸術大学と提携し、伝統とものづくりを発信する拠点となることが期待される。				
■作成者 氏名／所属		桐原武志 Free / JIA再生部会		作成協力者	開化堂カフェ	
				整理番号	No 259	